

# 消防指令システムの高度化により 音声以外の119番通報の受理が可能になる

## 【対策】42 消防指令システムの高度化等に係る対策

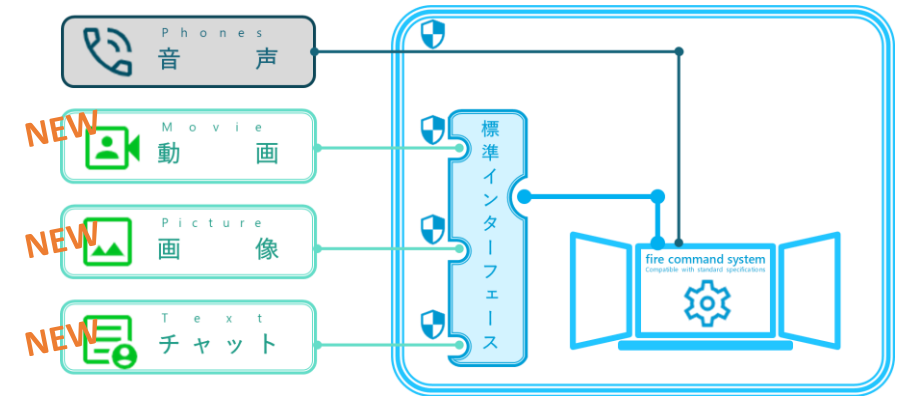
対策概要：消防本部間の連携を強化し災害時における消防本部の活動をより一層円滑化・高度化させるため、消防指令システムの高度化等に向け、外部システムとの連携等のための環境整備として、データの出入り口（標準インターフェイス）を構築する。

府省庁名：総務省

## 【事例】高度化に対応した消防指令システムの導入

- 実施主体：総務省消防庁
- 実施場所：総務省消防庁、全国の消防本部
- 事業概要：各消防本部が独自で導入している、119番を受け付けてから必要部隊を出動させる機能を持つ消防指令システムについて、①画像や動画などのデータ通信による119番通報を受け付けることを可能とする、②データ連携等を可能とするためのデータ要件の統一、の2点を実施している。
- 事業費：4.8億円（令和2年度～令和4年度予算）  
（うち5か年加速化対策（加速化・深化分）4.0億円）
- 効果：画像や動画などのデータ通信を利用した通報を標準化することで通報時に得られる情報が現在よりも多くなり情報収集能力が向上する。そのため、人命救助等に必要な装備を現在よりもさらに適切に選択して現場に向かえるなど事案対処能力が向上する。また、標準データ要件を備えることで、広域災害等において他本部との車両の位置情報等についてデータ連携が可能となり、情報共有体制が強化され、効果的な消防・救急・救助に繋がる。

## 1 音声以外の119番通報が受理可能になる



## 2 データ連携が容易に

